

令和3年7月15日

東京海洋大学 学生の皆さんへ

国立大学法人東京海洋大学
学 長 井 関 俊 夫

本学では、新型コロナウイルスの感染防止と学生の皆さんの充実した学修の両立のために、教職員一丸となって努力を続けています。一方で、東京都では変異株等の影響により、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大傾向が続いています。

このような中、7月12日から8月22日までの予定で、東京都に4回目の緊急事態宣言が発出されました。今回は東京オリンピック・パラリンピック、夏休み及び帰省の時期と重なりますので、これまで以上に人流増加による感染拡大が懸念されるところです。

皆さん自身とご家族、大切な方々の生命を守るため、改めて、以下に示す感染拡大防止のための行動を取るようお願いします。

- 1) 日常の行動において感染リスクが高まる「5つの場面（※1）」及び「3つの密（※2）」を避ける。
- 2) こまめな手洗い、うがい、手指の消毒、マスクの着用、大声での会話を控える等の基本的な感染防止対策を励行する。
- 3) 十分な体調管理を行い、不要不急の外出は自粛する。やむを得ず帰省する場合は、移動時の感染防止に十分留意し、必要最小限の家族を除き、人とは会わない。

また、現在、多数の学生が各自治体によるワクチン接種や慶應義塾大学による職域接種に参加しています。仮に、自分自身が2回のワクチン接種を完了したとしても、100%感染防止ができるわけではありません。友人との食事会、旅行等は控え、感染拡大防止に配慮した生活の継続をお願いします。

東京海洋大学の人材育成目標のひとつに

「論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力」

というものが 있습니다。国内にワクチンが行き渡り、社会全体として安心感が得られるまで、正しい情報にもとづいた自覚ある行動を取ることを東京海洋大学学生の皆さんには期待しています。

なお、本学は積極的なワクチン接種を推奨していますが、接種の有無をもって皆さんが不利益を被ることはありません。ワクチン接種はあくまでも任意であり、自分の体質、基礎疾患の有無等を考慮の上、慎重に判断して下さい。

本学は引き続き、感染防止に向けた取り組み・情報発信に努めていきます。夏休みの長期休暇を迎えるにあたり、学生の皆さんも今一度心を引き締め、感染防止に努めて頂くようお願いします。

※1 感染リスクが高まる「5つの場面」：飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり

※2 「3つの密」：換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面